

＜「再び子育て，そして親育て」期：『いまだきの親は』なんて言わない』編－3＞

対象（時間）：中高年などの子育て支援者（120分程度）

## かかわってみて… ～つろう，子どもの体験の場～

【ねらい】子どもの豊かな成長を促す体験の場をつくるために，自分には何ができるかを考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札，ワークシート，アンケート用紙（模造紙，付箋，フェルトペン（裏書きしないもの））

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネーム可）	※スケジュールを板書しておく。
（5分）	○ファシリテーター（学習支援者）自己紹介，主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は，予め了解を取る。（肖像権） ○三つの約束（発言の平等，人の発言を肯定，秘密の保守），ただし，言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り）	・机は講義形式
（15分）	<b>アイスブレイク（雰囲気づくり）</b> へびじゃんけん ①出会った人と握手して自己紹介 ②じゃんけんをして，負けた人は勝った人の背中に付く。 ③二匹の長いへびになったら，全体に聞こえるように自己紹介して，決勝じゃんけん。 ⑤先頭から番号をかけ，グループ分け。	○コミュニケーションに関わるゲームを通して，人間関係作りに大切なことを体験的に考える。 →「〇月〇日生まれの〇〇です」と，簡単に自己紹介 →了解を取って，前の人の肩に手をかける。  →長い一列になったら，念のため，先頭の人と最後尾の人にじゃんけんをしてもらってもよい。 →グループ内で自己紹介をしている間に，ワークシートを配付する。	・机を撤去  ・グループ数に応じて，机を配置
（12分）	<b>＜思い出しましょう＞P2 上</b> 設問に記入し，意見交流	○社会環境の違いについて気づききっかけとする。（付箋を使って発表すると多くの意見が出され，考えの共有もできる。）	
（5分）	<b>＜エピソードを読みましょう＞P2</b> ○まず各自で黙読する。 ○次に配役を決めて音読する。	○場の情景が思い浮かぶまで読みこむ。 ○登場人物の気持ちを考えるきっかけにする。子ども役の人に，音読後感想を聞くことも効果的。	
（3分）	<b>ワークシートの記入 P2 下</b> ○今の子どもたちの遊び場をあげる。	○子どもの遊び場を自由に挙げることで，子どもに関する環境について考えるきっかけとする。	
（12分）	<b>意見交流</b> ○書いたことを発表し合う。 ○フリートーキング	○付箋を使って発表後，「昔の遊びの環境」と比較することもできる。 ○P3下の資料の説明をする。	
（3分）	<b>ワークシートの記入 P3 上</b> ○あなたがさとしさんなら，子どもたちになんと答えますか。	○子どもを取り巻く環境の変化に共感するとともに，主体的に考える意欲を育てるきっかけとする。	
（12分）	<b>意見交流</b> ○書いたことを発表し合う。 ○フリートーキング		
（3分）	<b>ワークシートの記入 P3 中</b> ○あなたには何ができるでしょうか。	○P3中央の説明文を黙読し，ファシリテーターの読み上げを聞く。	
（30分）	<b>意見交流</b> ○意見発表し，各グループで話し合われたことを，全体で交換する。	○各グループ内で意見交換をする。（付箋を使って模造紙に分類して貼り付けるとわかりやすい。） ○参加者の環境が異なっているため，できることの違いがあるが，否定せず受け入れる雰囲気をつくる。	
（15分）	<b>＜学習を振り返りましょう＞</b> ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話		
（5分）	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
〈メモ〉			